

「突き抜ける力」とは？

突き抜けるとは、好きなことをトコトン突き詰めることなんだろうな。

そう思つて本書を手にとつた方は、正解かもしれない。

なぜなら、本書で書いた「突き抜ける力」は、まったくの別物だからだ。

別と言いつつてしまうと語弊があるかもしれないが、突き抜けるためのアプローチは確実に違うだろう。本書ではこの動作を、より俯瞰的に見ていこうと思う。

例えば、突き抜けるためには、「今ある状況」をしっかりと理解する必要があると思つし、突き抜けるだけの「力」を持つてなくてはいけないと思う。

つまり、思いつきですぐにできることではない。

だからこそ、「突き抜ける」ことは一つの能力として、非常に価値があるものだと思う。

では、なぜスポーツ業界、フィットネス業界にこそ、この力が必要なのか。本書では私がスポーツトレーナーとして活動してきて、感じてきたことを中心にまとめてみた。

私は「スポーツには無限の力がある」と信じているし、現にそう思っている。

これは、どこかの役人の言葉を借りてきたわけではなく、偽りなく自分の言葉である。

しかし、ただ「スポーツを愛している」という言葉は、あまりに脆弱であるとも感じる。

自分に何ができるか、そんなことを考えて行動に起こすことが大切だと思っている。

トレーニングがこうあるべきだ、リハビリがこうあるべきだ、そんな方法論ではなく、もっとマクロな視点で、スポーツを見ていこう。

スポーツに生きる人たちに確実に必要になっていくであろう「突き抜ける力」。

私なりに、答えを見つけてしまった。